

# 日野市 ファミリーサポート 通信

第24号  
2015年9月

発行 日野市ファミリー・サポート・センター  
受託 NPO 法人 市民サポートセンター日野  
〒191-0062  
日野市多摩平 2-9 多摩平の森 ふれあい館 2F  
TEL・FAX 042-589-7616  
URL <http://www.angel-hino.com/famisapo/famisapo.html>

## 子ども子育て支援法にも位置付けられた ファミリー・サポート・センター事業に期待するもの

日野市子ども部部長 池田 正昭



平成27年度、国は人口減少、少子化対策の大きな柱として「子ども子育て支援新制度」をスタートさせました。この制度は、全国すべての自治体が自ら策定した子育て支援事業を5年間の計画期間で実施する制度です。日野市においても『子育てしたいまち・しやすいまち日野』の実現に向けて、日野市子ども・子育て支援事業計画「新！ひのっ子すくすくプラン」を策定し、この4月よりスタートしたところです。

ファミリー・サポート・センター事業は、この制度の中で、国が特別に実施と充実を指定する「地域子ども・子育て支援事業（13事業）」の中に入っており、日野市においても「新！ひのっ子すくすくプラン」の中で「多様な保育の場づくり」として、その重要性和今後のさらなる充実に向けて力をいれる事業と位置づけています。共働き家庭の増加、ライフスタイルの多様化等、個人の考え方で地域と関わりを持たなくても過ごしていける時代です。それゆえ地域のつながりが希薄になったとも言われています。

そんな時代だからこそ、ファミリー・サポート・センター事業における地域の人々とのつながりと、子育てについて様々な援助活動を通し保護者の手助けをしながら一緒に話したり考えたりする活動の実践は、子育ての孤立化防止にもつながると共に、これからの子育て支援の重要な役割を担っていくものと考えています。

今後も地域での子育てしやすい環境づくりと、様々な場面で手助けが必要な方への援助活動の充実、ニーズの多様化による対応等、更なるファミリー・サポート・センター事業の発展に期待しています。

### ママサポふれんどさん誕生

平成27年5月から「日野市産前産後ケア事業」がスタートしました。この事業は、ファミサポの妊産婦援助と同様の内容で、産前産後のお母さんに家事援助をするものです。NPO法人市民サポートセンター日野はこの事業を日野市より受託し、派遣する人材を「ママサポふれんどさん」と名付けました。現在は、ファミサポの提供会員で研修を受けた「ふれんどさん」が派遣を希望する家庭に伺っています。

事業が始まって4か月が経ちましたが、特に産後のお母さんに派遣の希望があることがわかりました。赤ちゃんの沐浴の手伝いのほか、産後の疲れやストレスの解消のため、食事作り、アイロンがけなど日常の家事支援の依頼がきています。1回4時間以内で、産前3か月、産後3か月の間に6回の訪問をします。

ママサポふれんどさんは、“日野のお母さん”として活躍中です。今後はファミサポの提供会員さんにも声をかけ、産前産後ケアの研修を実施するなどして人材の育成を図り、産前産後ケア事業の充実を図ります。ご協力をお願いいたします。

### 会員登録継続について のお願い

会員の皆様の住所・電話番号などが変更になった、また、家族が増えた場合は、登録を修正する必要がありますので、お手数ですがセンターまでご連絡ください。

尚、退会をご希望の方もお知らせください。

お知らせがない場合、登録は自動的に継続されます。



# 「こんな時どうする？ どうしたらいいの？」



センターには日頃、会員のみなさんから様々な質問が寄せられます。今号では、その中からいくつか代表的なものをあげてQ&Aにまとめました。回答は保育講習会の講師の先生と地区サポーターさんをお願いしました。会員のみなさんが安心して依頼や活動ができるよう、今後もいろいろな問題を考えていきたいと思えます。

## Q) 小さな子どもの応急処置として、どんなことをしたらよいでしょうか？

A) 転んで擦り傷を負った時……傷を洗いドロや汚れを取ってから清潔なガーゼで傷をおおひましよう。消毒はしなくてよい場合もあります。  
 頭をぶつけてしまった時……すぐに泣いて顔色がよく、吐かないようなら大丈夫です。でも、意識がトロンとしているようなら医療機関へ連絡しましょう。  
 鼻血を出した時……鼻の付け根を冷やして鼻の穴に脱脂綿をつめ、上を向かないようにさせます。これで止まればOKですが、20分経っても止まらなければ医療機関へ連絡しましょう。



須賀康正先生  
須賀小児科院長

## Q) 預かっている子どもの体調が急に悪くなった場合に、気をつける点や対処の方法を教えてください。

A) 発熱の時は、頭痛や寒気から始まることが多いです。小さい子はぐずりが多くなります。熱が出て寒気がある時期を経てその後、体のすみずみまで熱くなっていきます。とりあえず冷えピタシートを貼り付けて様子を見ましよう。その時にぐったりするとか、吐くとか顔色が青白くなってしまう場合は、すぐに医療機関へ連絡します。熱が出ていても顔色も機嫌もよく、食欲もあるという程度であれば、そのまま様子を見て大丈夫です。また、吐いた場合ですが、1回吐いたあと顔色も機嫌もよく、その後吐かないようであれば特に処置は必要ありません。くりかえして吐く場合、その背景には軽症の胃腸炎から髄膜炎まで色々あるため、3回以上立て続けに吐く場合は、医療機関へ相談しましょう。



\*お子さんの具合が悪い場合は、提供会員さんから依頼会員さんにお知らせすることが先決です。医療機関へ連絡する必要がある場合は依頼会員さんからして頂くのが基本です。回答は、依頼会員さんが引き取りに来るまでの対処方法です。

## Q) 子どもが泣き続け、ずっと泣き止まない時はどうしたらよいでしょうか。子どもとのコミュニケーションの取り方を知りたいのですが、...

A) 「ママいなくてさみしいね」「早く帰ってくるといいね」などと声をかけ、子どもの気持ちに寄り添い、子どもの不安な気持ちが落ち着くまで待ちます。視線を向けて来たら抱っこをしたり、手をつないだりしながら、安心する雰囲気を作りましよう。抱っこやおんぶといったスキンシップは、子どもをリラックスさせてくれます。おんぶは顔が見えないので泣き止みやすいです。そっと胸や背中をさすったり、トントンしたりしましよう。また、興味を他に向けてあげると気分転換できます。音楽を聞かせたり、歌を歌ったり、好きな遊びに誘ってみたり、膝に座らせて絵本を読んだり、低年齢だと鏡を見せると泣き止むことがあります。



佐藤由美子先生  
日野市立ひらやま保育園園長

## Q) 幼児期の子どもを部屋の中で長い時間ずっと預かるという依頼でした。外に出たいと言いついた子どもと部屋で楽しく過ごす良い方法はないでしょうか？

A) 機嫌の悪い時など「こちょこちょ」としてみたり「ふーっ」と顔や首筋に息をかけてみましよう。また、窓を開けたり、隣の部屋に行くなど場所を変えてみるのもいいですね。缶やボールなどを転がしたり、お絵かき・ぬり絵、折り紙、ブロック、粘土など身近な物を使って一緒に遊びましよう。

**Q) 学童期の保育で長い時間を部屋で過ごす場合、テレビを観たりスマホなどのゲームに夢中になっている子どもへはどんな働きかけがありますか？**

A) 子ども一人で過ごす事は難しいので、一緒に遊んであげてください。興味関心も十人十色なので、保護者から事前に何が好きか聞いておき、本人が興味を引きそうな本（絵本、謎解き本、図鑑）やボードゲーム、製作などを一緒に楽しんでください。遊んだ後「上手だったね、スゴイね」など誉め言葉があると良いですね。また、テレビやゲームの切り方は時間制限が鉄則です。「何時まで見たら終わり、何時から何分間できるよ」など約束してください。人と一緒にする遊びがどれだけ豊かで素敵な過ごし方か、子どもに実感してもらえたら本当に嬉しいですね。



佐々木哲先生  
日野市基幹型児童館  
あそびバれっどあさひがおか児童館館長

**Q) 学童クラブの送迎などで移動中、手をつなぐことを嫌がる子がいます。急に走り出すのではないかと不安です。安全に活動を行うためにどんな声かけをしたらよいでしょうか？**

A) 小学生になると大半の子は手をつながなくなるかと思えます。声のかけ方は、ただ「あぶない」ではなく「後ろからバイクが来たよ、電柱の方に寄って」「止まって、車が出てくるよ」など、何が危なくて、どう動くか具体的に伝えてください。  
また、並んで歩く時は大人が常に道路側を歩き、道を渡るなら一歩先に出て安全を確認してください。子どもは大人に比べて視野が狭く、危険予知もあまり出来ません。皆さんがする一歩先の危険予知の一声が相当な安全確保になります。



阿部英子さん  
ファミサポ提供会員  
地区サポーター

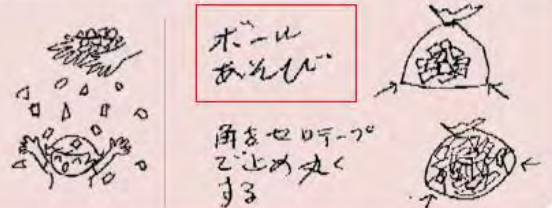
**Q) きょうだいと一緒に保育する場合の工夫はありますか？**

A) 年齢に合った興味のある玩具を各々に2つ以上用意してあるといいですね。トラブルは危険がない限り見守り、喧嘩になった場合はそれぞれの気持ちを言葉にしてあげるとよいでしょう。「お兄ちゃんのがほしかったのね」「痛かったね」「貸してね」「ありがとう」など。時間をかけ、言い分を聞いてあげましょう。

**Q) 子どもと一緒に楽しく遊びたいと思います。身近にあるものを使って簡単に出来る遊びを教えてください。**

A) 新聞紙を使った遊びを1つ紹介します。

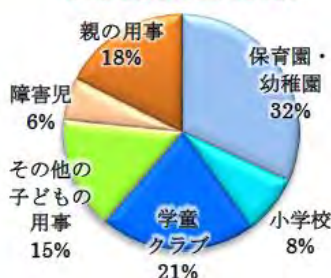
- ①新聞紙の端を切っておく。大人がビリビリ〜と裂いて見せ、一緒にビリビリと楽しみながら、細かくちぎっておきましょう。
- ②ちぎった紙を集め、立って上からヒラヒラと散らす。
- ③くり返し遊んだらビニール袋（小）に入れ口をとじてボールを作る。中味が少なかったら空気を入れ輪ゴムか袋をねじり結ぶ。



### 保育講習会のお知らせ

ファミサポでは年2回、保育講習会を開催しています。次回は11月13日(金)～12月2日(水)の4日間を予定しています(会場：多摩平の森ふれあい館)。全科目受講で10ポイントですが8ポイント以上で保育援助活動ができます。まだ受講していない方は、この機会にぜひご参加ください。内容の詳細はホームページや日野市広報でご覧頂けます。お問い合わせ・お申込みは11月5日(木)までにファミサポたかはた支所へ。TEL：599-7616

### 保育援助活動の内訳



### 平成26年度の状況

保育援助・事前打ち合わせ件数	259件
保育活動総数	4,027件
家事・妊産婦・高齢者援助・事前打ち合わせ件数	75件
家事活動総数	1,467件

### 会員別人数

依頼会員	5,896名
提供会員	582名
両方会員	163名
合計	6,641名

# 養成講座・第10回会員交流会

日 時 平成27年12月9日(水) 13:15~16:45 (13:00受付開始)  
場 所 多摩平の森ふれあい館3階 集会室6  
申込締切 11月18日(水)  
申 込 先 TEL 589-7616 ファミサポたまだいら  
主 催 日野市ファミリー・サポート・センター 地区サポーター実行委員会  
★保育(第1部のみ)をご希望の方はセンターまでご連絡ください。

## <第1部>

養成講座

13:15~14:45

### 子どもの心をつかむ保育 …作って遊ぼう!…

講 師: 佐藤由美子先生(日野市立ひらやま保育園 園長)

参加費: 無料 定 員: 60名

子どもと少しでも楽しい時間を過ごせるよう、子どもの気持ちに寄り添う保育についてお話をして頂きます。後半は、新聞紙や牛乳パックを利用して魚釣り具やパラシュートなどの遊び道具を一緒に作ってみましょう。



## <第2部>

会員交流会

15:00~16:45

### 楽・楽体操と交流会 …コーヒー、お菓子付き…

インストラクター: 荒木和子先生

お茶菓子代: 300円 持ち物: マイカップ

美味しいコーヒーとお菓子を楽しみながら会員間の交流を深めます。活動の中で困ったことや楽しい出来事などこの機会に話し合っ今後の活動に役立てましょう。尚、今回の第2部は、体をほぐして心を癒せる「楽・楽体操」から始まります(20分間)カジュアルな恰好でご参加を!



## ~平成27年度 地区サポーター紹介~

岩石法子 高橋紀子 神田鈴加 荒川紀代美  
阿部英子 三好啓子 山口伸子 河野瑤子



困ったときにはお互いさまの気持ちで地域の助け合いを広めて絆を深めていきましょう。私達が少しでも力になれば嬉しいです。(地区サポさんへ連絡ご希望の方はファミサポたまだいらまで)

## センターからのお願い

事前打ち合わせ票や活動報告書は個人情報に記載された大切な書類です。取り扱いには十分ご注意くださいようお願いいたします。

ファミサポたまだいら ☎ 042-589-7616

## あつまれ! ミニ交流会(一中・大坂上中地区)

平成27年10月23日(金)10:00~11:30

新町交流センター2F 会議室

参加費: 無料 親子で参加大歓迎!

内 容: 手遊び、おり紙(くるくるコマ)、お茶を飲みながらおしゃべり交流会。何でも相談、他地区の参加も歓迎します。

申込み: 不要。お気軽にどうぞ!

地区サポーターみんなで待ってます。



## ◆◆アドバイザー紹介◆◆

~みなさんの笑顔を励みに日々頑張ってます~



ファミサポたかはた ☎ 042-599-7616